

各地の状況

北海道



北海道の景況は、住宅建築が減少傾向にあるものの、個人消費、設備投資が持ち直すなど、持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、好調なインバウンド消費などから百貨店販売が増加するなど、持ち直し。住宅建築は、供給過剰感などから投資抑制傾向の続く貸家が減少するなど、減少傾向。設備投資は、観光客受入態勢強化に向けた投資着工がみられるなど、持ち直し。公共工事は、北海道新幹線工事を中心に独立行政法人等が増加したものの、国、市町村が減少するなど、足許減少。輸出は、ホタテガイ、自動車の部分品が増加するなど、底離れ。

生産活動は、石油製品が増加したものの、金属製品、窯業・土石製品が減少するなど、横這い。観光は、外国人客が増加するなど、好調。雇用は、人手不足が続き、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。